


提出順	8	発言順	8	令和 2 年 // 月 24 日
				午前・ 午後 / 時 55分受領

(/ 枚中No. /)

令和2年11月24日

安曇野市議会議長 召田 義人 様

安曇野市議会議員

増田望三郎 

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和2年安曇野市議会 12月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input checked="" type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光部 <input checked="" type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	どこでも働ける時代、暮らすまちを選ぶ時代 ~安曇野への人の還流を起こす2つの提案~		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

コロナによりテレワークでの働き方が進み、どこでも働ける時代、すなわち、暮らすまちを選べる時代になりつつある。このチャンスを生かして、安曇野市への人の還流 (移住促進と関係人口の拡大) を起こす2つの提案をする。

1、本市職員のテレワークの検討は

2、還流のための2つの提案

①テレワークで移住促進

- ・移住促進の前提の変化
- ・総合戦略 KPI とテレワーク推進の必要性は
- ・テレワーク環境、どのような整備をするのが行政の役割か
行政の拠点整備か or 民の力を生かした多様なテレワーク拠点づくりか

②シェアハウスで関係人口の拡大

- ・移住だけでなく、関係人口に注目する理由
- ・多拠点居住&中長期滞在拠点としてシェアハウスを/土地利用条例の見直し

※これも関係人口拡大の施策

- ・学生たちとも関係構築しUターンに/始まりは学生応援便から

〈記入要領〉